

外国人研究者受入れ援助 成果報告書

記入日 20XX 年 4 月 1 日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関の名称は、大学院の
研究科、研究所まで記載
※申請時から変更がある場合は
下行に申請当時の機関名称を
() 書きのこと

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 教授
(申請時：□□□大学▽▽学科 准教授)

受入れ研究者 財団 太郎

貴財団による外国人研究者受入れ援助の研究活動成果について、下記
のとおり報告します。

※各記入欄は、字数制限がある場合はそれを超えない範囲で行数を増減のこと
フォントは、MS明朝、英文・Century 10pt (研究課題のみ12pt)

研究課題： ※申請時の研究課題を太字12ptで記入

(英語) ※英文も併記

受入れ研究者： 財団 太郎 ※太字

(英語) Taro Zaidan ※姓はすべて大文字

所属機関・職名： ○○○大学大学院△△△研究科 教授 ※太字

(英語) Professor, Graduate school of … ○○○University

外国人研究者： ポール・スミス

(英語) Paul Smith

所属機関・職名： ●●大学■学部 助教

(英語) Assistant Professor, Department of … ○○○University

招へい期間： 20XX年4月1日～20XX年3月31日(365日間)

※現地時間ではなく、日本の出入国日を記載

援助額： 248万円 ※採択決定額を記載

日程：

※日にち、訪問先、活動内容(視察、討論等)を具体的に記載

20XX年○月○日 来日

20XX年○月○日 △△大学において意見交換

20XX年○月○日～20XX年○月○日 ○○大学において共同研究

20XX年○月○日 □□大学「○○研究会」参加

20XX年○月○日 帰国

Summary：(英文200単語程度)

目的：

※申請時の研究目的を記載

研究成果：（和文2,000字以内）

※援助期間中の外国人研究者の研究実施状況、及び我が国の研究者に与えた影響を主として記載

※図版を使用される場合、図、写真、表等合わせて5点以内

（図版は財団年報に掲載する際は全てモノクロ）

※書式に関する留意事項

a. 段落

段落先頭は一字下げ

b. 句読点

文末に打つ句点は「。」、文中に打つ読点は原則として「、」で表記

ただし、本文中あるいは尾注において外国語、外国文献等を記載する場合は読点の代わりにコンマ（,）を使用

c. 図表

必ずタイトルをつけ、図と表ごとに付番のこと

番号とタイトルは、ゴシック体で記載

d. 参考文献等

(1), (2), (3)・・・として記載

発表論文名、著書名、講演項目：（予定を含む、必要に応じて増減のこと）

※本受入れによって発表したもの

発表予定のものは末尾に（発表予定）とし、該当がない場合は「なし」と記載

(1) 財団太郎「●●の研究－▲▲－」『◎◎レポート』○○出版、20XX年10月

(2) 財団太郎、山田次郎「●●の研究－▲▲－」『月刊■ ■』XX号、20XX年5月（掲載予定）

以上

※(中堅) (若手) シートが分かれているので該当する方を選択のこと

外国人研究者受入れ(中堅) 援助 会計報告書

記入例

記入日 2021年4月25日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 准教授

氏名 財団 太郎

会計報告は下記のとおりです。

1. 研究課題

※申請時の研究課題を記入

複数回に分けて渡航した場合
「2. 派遣期間」の行をコピーして追記
日数は自動計算されるので、最終行の右
の欄に総計を追加記入のこと

	日本出国日		日本入国日	
2. 申請時受入れ期間	2020/4/1	～	2021/3/31	(365日間)
実際の受入れ期間	2020/4/1	～	2020/7/31	(122日間)
	2020/8/10	～	2021/3/31	(234日間)
				(総計356日間)

3. 当財団からの援助金額

385 万円

採択決定額を記入

4. 会計報告

支出実績合計

376 万円

※内訳は5のとおり

5. 使途内訳

※使途内訳より自動入力

費用項目	支出実績額			使途
	1日当たり	滞在日数	金額	
旅費 ・渡航費			20万円	旅費に係る移動経路： ・ボストン⇄成田(往復)
滞在費 (中堅/准教授級)	1万円	356日	356万円	宿泊した施設名： ○○大学 ゲストハウス
援助金額 385万円		支出実績合計	376万円	※プラスは余剰金 +9万円

援助金額と申請時日数より
自動算出

実際の派遣日数を入力

余剰金がある場合、事務局に報告の上、
本報告書提出前に返戻手続きを完了のこと

金返戻日(発生した場合のみ)：2021年4月10日

※(中堅) (若手) シートが分かれているので該当する方を選択のこと

外国人研究者受入れ(若手) 援助 会計報告書

記入例

記入日 2021年4月25日

公益財団法人 鹿島学術振興財団 御中

所属機関・職名 ○○○大学大学院△△△研究科 助教

氏名 財団 太郎

会計報告は下記のとおりです。

1. 研究課題

※申請時の研究課題を記入

複数回に分けて渡航した場合
「2. 派遣期間」の行をコピーして追記
月数は自動計算されるので、最終行の右
の欄に総計を追加記入のこと

	日本出国日		日本入国日	
2. 申請時受入れ期間	2020/4/1	～	2021/3/31	(12ヶ月間)
実際の受入れ期間	2020/4/1	～	2020/7/31	(4ヶ月間)
	2020/9/10	～	2021/3/31	(7ヶ月間) (総計11ヶ月)

3. 当財団からの援助金額

248 万円

採択決定額を記入

4. 会計報告

支出実績合計

229 万円

※内訳は5のとおり

5. 使途内訳

※使途内訳より自動入力

(単位：万円)

費用項目	支出実績額			使途
	1ヶ月当たり	滞在日数	金額	
旅費 ・渡航費			20	旅費に係る移動経路： ・ボストン⇄成田(往復)
滞在費 (若手/助教・大学院生)	19	11ヶ月	209	宿泊した施設名： ○○大学 ゲストハウス
援助金額 248万円		支出実績合計	229	※プラスは余剰金 +19

援助金額と申請時月数より
自動算出

実際の派遣月数を入力

余剰金がある場合、事務局に報告の上、
本報告書提出前に返戻手続きを完了のこと

金返戻日(発生した場合のみ)：2021年4月10日